



株式会社 郵愛

〒151-8502
渋谷区千駄ヶ谷1-20-6
FAX (0120) 779-783

TEL (0120) 025-315 (自動車保険)
(0120) 025-375 (総合保険)
(0120) 025-915 (がん保険)
(0120) 221-220 (医療共済)

「がん保険」について考える

◆ 若年層はがんリスクが低いから「がん保険」はいらない? ◆

一般的に、がんの罹患率は年齢とともに上昇する傾向にあります。

「自分はまだ若いからがんになる可能性は低い」「がん保険は高齢になってから考えればよい」という考えから、特に20代や30代の若年層でがん保険の必要性を感じない方がいます。

確かに全体的な罹患率は高齢者に比べて低いものの、白血病や悪性リンパ腫、また女性では乳がんや子宮頸がんなど、若い世代でも発症リスクのあるがんは存在します。

◆ 先進医療や自由診療で高額になるがん治療費 ◆

がん治療には、公的医療保険が適用される「標準治療」の他に、「先進医療」や「自由診療」といった選択肢があります。

これらは、治療効果が期待できる一方で、費用が高額になるケースが少なくありません。

先進医療は高度な医療技術を用いた治療法で、技術料部分は全額自己負担となります。

また、自由診療は、公的医療保険の適用外となる治療法や未承認薬などを使用する治療で、費用は全額自己負担となります。

海外では承認されていても国内では未承認の抗がん剤を使用する場合などがこれにあたり、治療費が数百万円から数千万円に及ぶこともあります。

高額療養費制度は、あくまで保険診療の範囲内での自己負担額に上限を設ける制度であり、先進医療の技術料や自由診療の費用は対象外となります。

◆ 「がん保険」は経済的備え以上の価値 安心という理由 ◆

「がん保険」の役割は、単に経済的な負担を軽減するだけではありません。

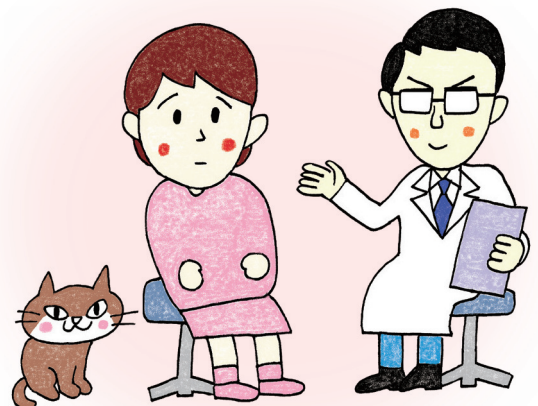
『もしもの時に経済的な心配をせずに治療に専念できる』という精神的な安心感をもたらす点は、非常に大きな価値といえます。

「がん保険」に加入していれば、経済的な基盤があるという安心感が、前向きに治療に取り組む力を支えてくれます。

また、家族に経済的な負担をかけたくないという思いも、「がん保険」を検討する大きな理由の一つです。

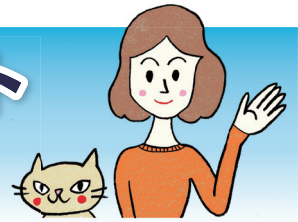
自分が倒れた後も家族が安心して生活できるよう、備えをしておくことは、家族への愛情表現ともいえるでしょう。

「がん保険」は、患者本人だけでなく、支える家族にとっても心の支えとなります。



JP労組組合員の専用プランです

あなたによりそうがん保険 ミライト JP労組プラン



保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

手頃な保険料

安心のおすすめ

充実の保障

	対象	保険期間		
		がん	上皮内新生物	終身
診断給付金	がん・上皮内新生物と診断確定されたとき	○	○	一時金として がん 50万円 上皮内新生物 50万円
入院給付金	がん・上皮内新生物の治療を目的とする入院をしたとき	○	○	保障はありません
通院給付金	がん・上皮内新生物の治療を目的とする所定の通院をしたとき	○	○	1日につき 5,000円
治療給付金	がん・上皮内新生物の治療を目的として、下記いずれかに該当したとき 入院 手術 ホルモン療法 緩和療養 抗がん剤治療 放射線治療(電磁波温熱療法を含む)	○	○	該当した月ごとに 5万円 ホルモン療法のみの場合 2.5万円
がん先進医療・患者申出療養給付金 ^(*)	「がん」の診断や治療で先進医療・患者申出療養を受けたとき	○	—	先進医療・患者申出療養にかかる技術料のうち 自己負担額と同額 (通算2,000万円まで)
がん先進医療・患者申出療養一時金 ^(*)		○	—	一時金として 1年に1回 15万円

*上皮内新生物は保障の対象外

JP労組プランに付加可能な特約です

がんと診断された場合の
保険料負担に備える

がん診断保険料払込免除特約

全額自己負担となる特定保険外診療^(*)や
がんゲノムプロファイリング検査費用に備える

がん特定治療保障特約

がんの再発やがん治療が
長引いた場合に備える

診断給付金複数回支払特約

がん治療に伴う
外見の変化に備える

外見ケア特約

所定のがんの検診後の
要精密検査に備える

がん要精検後精密検査保障特約

「心疾患」や「脳血管疾患」に
備える

重大疾病一時金特約

がん治療後の経過観察中の
経済的負担に備える

治療後生活サポート保障特約

女性特有の
がん

女性がん特約

*がん診療連携拠点病院等において、公的医療保険制度の対象とならない所定の手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン療法を受けたときにお支払いします。

契約後のサービス〈アフラックのよりそうがん相談サポート〉

よりそうがん相談サポーターは、がん患者様のご相談サポートの経験がある看護師・社会福祉士等のメンバーで構成された専任のサポートチームです。お一人おひとりに合わせて信頼できる情報や安心して利用いただけるサービスをご案内し、お困りごとや疑問の緩和・解消をサポートします。

(*)アフラックのよりそうがん相談サポートは、アフラックがグループ会社を通じて行うサービスとして提供します。

よりそうがん相談サポートで提供する各種サービスの内容は、2026年4月現在のものであり、将来変更される場合があります。

サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ (<https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>) にてご確認ください。

- がん保険には保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。
- 「先進医療」および「患者申出療養」は、厚生労働大臣が認める医療技術です。これらは医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状など)および実施する医療機関が限定されています。また、医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。
- アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する先進医療の特約は被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。その他特約にも制限があります。
- あなたによりそうがん保険ミライトは特約中途付加のお取扱いはありません。

商品・サービスの詳細は「契約概要」等をご覧ください

お問い合わせは

■募集代理店

JP労組保険代理店 (株)郵 愛

〒151-8502 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

営業時間：9時～17時 休業日：土曜・日曜・祝日

電話：0120-025-915(通話無料)

■引受保険会社 アフラック 法人第二営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル 電話：03-6385-9829

ミライト・JP労組プラン各コース 新規加入保険料例

団体取扱・月払・解約払戻金無型・定額タイプ・がん診断保険料払込免除特約付き(上皮内新生物保障特則有)
保険料払込期間:終身(がん先進医療・患者申出療養特約は10年) 2026年4月1日現在

契約年齢	男性			女性		
	ミライト バリューコース	ミライト 基本コース	ミライト 充実コース	ミライト バリューコース	ミライト 基本コース	ミライト 充実コース
10歳	1,058円	1,293円	1,693円	1,215円	1,420円	1,880円
20歳	1,338円	1,638円	2,158円	1,536円	1,781円	2,361円
30歳	1,839円	2,249円	2,969円	2,149円	2,479円	3,309円
40歳	2,716円	3,316円	4,426円	2,869円	3,314円	4,424円
50歳	4,288円	5,228円	7,058円	3,430円	4,020円	5,380円
60歳	6,966円	8,441円	11,391円	4,130円	4,890円	6,590円
65歳	8,602円	10,372円	13,932円	4,455円	5,315円	7,155円

★上記は10歳刻みの保険料です。実際は1歳刻みの保険料で0歳から満85歳まで加入できます。

※上記はがん診断保険料払込免除特約(上皮内新生物保障特則有)が付加された場合の保険料です。
がん診断保険料払込免除特約が付加されていない保険料は募集代理店へお問い合わせください。
※がん先進医療・患者申出療養特約の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

JP労組 団体取扱でのメリット

- ① 団体割引の適用された保険料で加入いただけます!
- ② 契約者を組合員とすることで
2親等以内のご家族も団体割引が適用されます!
- ③ 退職しても団体割引が継続できます!
- ④ ご契約後の契約・保全に関する業務、
給付金請求などのサポートをいたします!

本紙はすべての内容を記載しているものではありません。
保障内容や支払事由の詳細は株式会社郵愛ホームページ掲載のパンフレット等を必ずご確認ください。



2026年5月中旬に
がん保険未契約の組合員とご家族向けに
「ミライトJP労組プラン」のDMが発送予定です。
この機会にご検討ください!

りっか 「立夏」が教えてくれる、夏に向けた体の備えとは？

「立夏」とはどんな日？

5月6日頃に訪れる「立夏」は、二十四節気のひとつで、暦の上で夏が始まる日です。気温が上がり、日差しが強くなるこの時期は、体が冬から夏モードへと切り替わる大切な移行期にあたります。この変化に体がうまく対応できないと、だるさや疲れ、食欲不振といった「初夏バテ」を引き起こしやすくなります。



立夏を過ぎたら始めたい、3つの体の備

- ① 水分補給を意識する
- ② 睡眠リズムを整える
- ③ 胃腸をいたわる食事を心がける

気温の上昇とともに、自覚がないまま汗をかく季節になります。厚生労働省は、1日あたり1.5～2リットルの水分補給を推奨しています。のどが渇く前にこまめに飲む習慣をつけましょう。

日照時間が長くなると、寝つきが悪くなる方が増えます。就寝1時間前はスマホを控え、部屋を暗くして体が自然に眠れる環境を整えましょう。

冷たい飲み物や食べ物が増えるこの時期は、胃腸への負担が高まります。温かいスープや発酵食品を積極的に取り入れ、腸内環境を整えることが夏バテ予防にもつながります。

増えてきた紫外線、目のダメージを防ぐケアのポイントは？

5月からすでに紫外線は「夏レベル」

紫外線は夏だけの問題と思われがちですが、実は5月から急激に増加し、真夏とほぼ変わらないレベルに達することがあります。特に目はケアを忘れられがちです。

紫外線を長期間浴び続けると、目の水晶体のたんぱく質が変性し、「白内障」や「老眼の進行」のリスクが高まること専門医によって報告されています。日差しが心地よいこの季節こそ、目のケアを意識しましょう。



今日からできる、目を守る3つのポイント

- ① UVカット機能付きのサングラスを活用する
- ② 帽子を組み合わせる
- ③ 目のかすみや疲れを放置しない

レンズの色の濃さよりも、UVカット機能があるかどうか重要です。フレームが大きいものを選ぶと、より広範囲を守ることができます。

サングラスと帽子を併用することで、紫外線の遮断効果が大幅に高まります。つばの広いものがより効果的です。

紫外線によるダメージは蓄積されます。目のかすみや疲れが続く場合は、早めに眼科への受診をおすすめします。